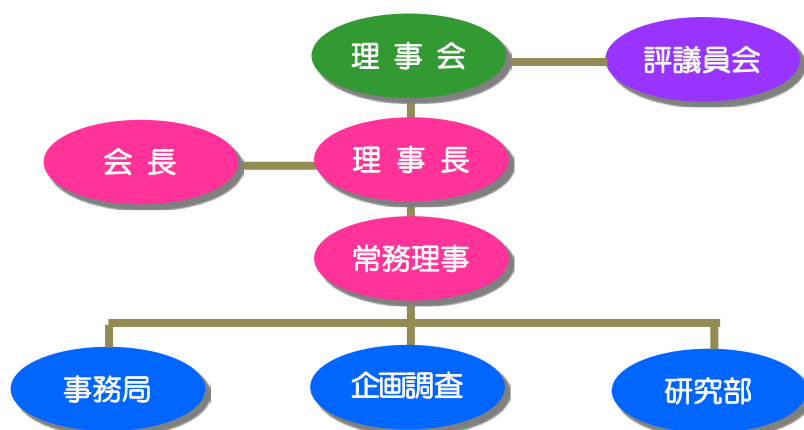


1. 財団の概要

法人名	公益財団法人 ダイア高齢社会研究財団
理事長 (代表理事)	石塚 博昭 (2017年5月1日就任)
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目34番5号 VERDE VISTA 新宿御苑3階
電話/FAX	03-5919-1631 (代表) / FAX 03-5919-1641
ホームページ	http://www.dia.or.jp/
設立	1993(平成5)年6月18日 (厚生省許可) 2010(平成22)年12月1日 公益財団法人に移行 (内閣府認定)
目的	高齢社会の諸問題に関する実践的な調査・研究活動を通じて、保健・医療および福祉等の分野の課題の解決に寄与する
主な事業	高齢社会における「健康」「経済」「生きがい」に関する調査・研究、ならびに諸問題に関する啓発活動・活動成果の普及
賛助会員 27社 (五十音順) (2018年7月1日現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・ AGC 株式会社 ・ キリンホールディングス株式会社 ・ JXTG ホールディングス株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社 ・ 株式会社ニコン ・ 日本郵船株式会社 ・ 株式会社ピーエス三菱 ・ 三菱アルミニウム株式会社 ・ 三菱化工機株式会社 ・ 三菱ガス化学株式会社 ・ 三菱ケミカル株式会社 ・ 株式会社三菱ケミカルホールディングス ・ 三菱地所株式会社 ・ 三菱自動車工業株式会社 ・ 三菱重工業株式会社 ・ 三菱商事株式会社 ・ 三菱製鋼株式会社 ・ 三菱製紙株式会社 ・ 三菱倉庫株式会社 ・ 株式会社三菱総合研究所 ・ 三菱電機株式会社 ・ 三菱マテリアル株式会社 ・ 株式会社三菱 UFJ 銀行 ・ 三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社 ・ 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 ・ 三菱 UFJ ニコス株式会社 ・ 明治安田生命保険相互会社

2. 執行組織



当財団ホームページトップページ



3. 評議員・理事・監事

評議員

(2018年7月1日現在)

(敬称略。五十音順)

氏名	所属
秋山 弘子	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
阿部 恵成	三菱電機株式会社 人事部次長
安藤 高夫	医療法人社団永生会 理事長
池上 直己	聖路加国際大学 特任教授
磯田 卓	東京海上日動火災保険株式会社 総務部長
荻原 隆二	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院 緩和ケア内科医師
菅原 弘子	福祉自治体ユニット 事務局長
関根 秀真	株式会社三菱総合研究所 人事部長
西貝 昇	三菱地所株式会社 取締役兼執行役常務
藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長
丸井 英二	人間総合科学大学人間科学部 教授
簾 孝志	AGC株式会社 執行役員 人事部長
三好 敏也	キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員
横山 隆史	三菱マテリアル株式会社 人事総務本部 人事部副部長
吉田 芳之	日本郵船株式会社 取締役専務経営委員 総務本部長

理事

(2018年7月12日現在)

(敬称略)

氏名	所属
会長 松尾 憲治	明治安田生命保険相互会社 特別顧問
理事長(代表理事) 石塚 博昭	三菱ケミカル株式会社 相談役
常務理事(業務執行理事) 樋渡 泰典	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 常務理事
浅野 洋介	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
河村 博江	一般財団法人長寿社会開発センター 理事長
齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
小林 建司	三菱商事株式会社 総務部長
鈴木 邦彦	公益社団法人日本医師会 常任理事
関 浩之	株式会社三菱 UFJ 銀行 執行役員 人事部長
田中 滋	埼玉県立大学 理事長
廣江 睦雄	三菱重工業株式会社 常務執行役員
堀田 力	公益財団法人さわやか福祉財団 会長
水田 邦雄	一般社団法人シルバーサービス振興会 理事長
山本 則子	東京大学大学院 医学系研究科 教授

監事

(2018年7月1日現在)

(敬称略)

氏名	所属
金森 比左志	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 取締役常務執行役員
金子 茂夫	金子会計事務所 (公認会計士・税理士)

4. 理事会・評議員会の開催状況

理事会

開催日 (※：定時理事会)	決議事項 (○)・報告事項 (◇)
2017年 4月 14日	○ 代表理事選定の件
2017年 5月 22日 (※)	○ 2016年度事業報告及び附属明細書承認の件 ○ 2016年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録承認の件 ○ 基本財産有効活用の件 ○ 賛助会員入会の件 ○ 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ◇ 職務遂行状況報告の件
2018年 3月 6日 (※)	○ 2017年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ○ 2018年度事業計画及び収支予算承認の件 ○ 倫理審査委員会の件 ○ 内部諸規程制定及び改正の件 ◇ 評議員選任の件 ◇ 職務遂行状況報告の件 ◇ 基本財産等の管理運用状況の件

評議員会

開催日 (※：定時評議員会)	決議事項 (○)・報告事項 (◇)
2017年 4月 14日	○ 理事選任の件
2017年 6月 7日 (※)	○ 2016年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録承認の件 ○ 基本財産の有効活用の件 ○ 監事選任の件 ◇ 2016年度事業報告の件 ◇ 賛助会員加入の件
2017年 7月 1日	○ 理事選任の件
2018年 3月 6日	○ 2018年度事業計画及び収支予算の承認の件 ○ 評議員選任の件 ◇ 倫理審査委員会の件 ◇ 内部諸規程制定及び改定の件 ◇ 職務遂行状況の件 ◇ 基本財産等の管理運用状況の件
2018年 3月 27日	○ 評議員選任の件

5. 研究スタッフ (2018年4月1日現在)

石橋 智昭 主席研究員／研究部長 (博士<医学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスサービスリサーチ
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの質の可視化 介護保険制度の政策評価 生きがい就業の健康維持効果
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> インターライ方式ガイドブック；ケアプラン作成・質の管理・看護での活用(編著)：医学書院(2017) 就労支援で高齢者の社会的孤立を防ぐ 社会参加の促進と QOL の向上；第5章生きがい就業を支える社会システム(分担執筆)：ミネルヴァ書房(2016) ジェロントロジー・ライブラリー②高齢者の就業と健康 何歳まで働くべきか；第3章-1 介護予防になる生きがい就業のかたち(分担執筆)社会保険出版社(2016) Towards Human Rights in Residential Care for Older Persons: International Perspectives; Human rights and residential care for older people in Japan. Routledge, 2015. Regulating Long-Term Care Quality ; An International Comparison. Cambridge University Press, 2014. 介護従事者 初任者研修テキスト(分担執筆)：ミネルヴァ書房(2013年) 介護従事者 初任者研修テキスト(分担執筆). 介護労働センター(2018年) インターライ方式 ケア アセスメント—居宅・施設・高齢者住宅(翻訳). 医学書院(2011年) <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター会員の前職と希望する職種の関係 老年社会科学 38-1 (2016) 生きがい就業を支えるシルバー人材センターのシステム. 老年社会科学, Vol.37-1, 2015. 「介護予防の観点からみた生きがい就業の効用. 『病院設備』(VOL.56-4, 2014) 介護人材をどう確保するか：日本版キャリアパスの検証(特集 高齢先進国のビジョン) 『病院』 71(9) 708-712 (2012年9月) アセスメントデータを用いた居宅ケアの質の評価—HC-QI の活用. 老年社会科学 33(3)484-489(2011年) Should the provision of home help services be contained?: validation of the new preventive care policy in Japan. BMC health services research 10 224(2010年) <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第46回(平成27年)三菱財団 社会福祉事業・研究助成「高齢者が支え手側となる「生きがい就業」の有用性検証」 科学研究費助成事業(2013-2015)「ケア現場のエビデンス集積を促進する利用者データベースの構築」 ファイザーヘルスリサーチ振興財団・国際共同研究助成(2009年)：「訪問介護による生活援助と機能状態の関係」；デンマークにおけるパネルデータの検証から見た今後の日本の介護予防施策

大学・関係団体 での役職	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慶応義塾大学医学部 非常勤講師 ・ 東邦大学看護学部 非常勤講師 ・ (公社)全国シルバー人材センター事業協会 優良センター等選定委員 ・ 特定非営利活動法人インターライ日本 理事 ・ 東京都健康長寿医療センター (研究協力員)
-----------------	--

澤岡 詩野 主任研究員 (博士<工学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年社会学 (社会関係)、都市社会学、建築学 (都市計画)
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市高齢者の周縁部の社会関係 (仲間や知合いなどのゆるやかなつながり) ・ 社会とつながり続ける手段としての ICT の可能性 (情報通信技術) ・ 高齢期の第三の居場所 (家庭、職場に続く居心地の良い場の形成)
近年の主な業績	<p>(著書/分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 袖井孝子編著、佐藤滋、辻利夫、澤岡詩野他「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり」ミネルヴァ書房, 2016 ・ 荻窪家族プロジェクト物語; 住む人・使う人・地域の人みんなでつくり多世代で暮らす新たな住まい方の提案, 荻窪家族プロジェクト編著: 瑠璃川正子、澤岡詩野、連建夫ほか, 萬書房, 2016 <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市高齢者のボランティア活動と継続意識; よこはまシニアボランティアポイント制度登録者における検討; 澤岡詩野、渡邊大輔、中島民恵子、大上真一, 応用老年学, 第 11 巻, 61-70, 2017 ・ 高齢者が日常生活において交流している他者との関係; 古谷野亘、澤岡詩野、菅原育子、西村昌記, 老年社会科学 38 (3), 345-350, 2016 ・ 都市高齢者の近隣との関わり方と支え合いへの意識; 非常時と日常における近隣への意識に着目して; 澤岡詩野、渡邊大輔、中島民恵子、大上真一, 老年社会科学, 第 37 巻第 3 号, 306-315, 2015 ・ 高齢者の非親族との電子メールを介した交流の特性; 澤岡詩野、袖井孝子、森やす子、荒井浩道、社会情報学, 第 2 巻第 3 号, 15-26, 2014 ・ 都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ; 澤岡詩野, 応用老年学, 第 8 巻第 1 号, 31-39, 2014 ・ 都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流; 澤岡詩野、古谷野亘、本田亜起子, 老年社会科学, 第 34 巻第 1 号, 39-45, 2012 ・ 社会関係の研究において用いられている非親族との関係の指標; 日本の高齢者を対象とした最近の実証研究のレビュー; 澤岡詩野、古谷野亘, 老年社会科学, 第 33 巻第 1 号, 47-59, 2011 <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年度長寿科学研究者支援事業 (平成 29 年~31 年) ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究 ・ 平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金 (平成 23 年、研究代表者 藤原佳典、分担研究者) 地域保健事業におけるソーシャルキャピタルの活用に関する研究 ・ 平成 23 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手 A (平成 23~25 年) 日常化しつつある都市在宅高齢者の交流媒体としてのインターネットの役割 ・ 平成 22、23 年度 福祉医療機構事業助成 (申請 シニア社会学会) ICT による高齢者孤立防止事業、孤立防止モデル普及事業 ・ 平成 22 年度 日本興亜福祉財団ジェロントロジー研究助成 ICT を活用した後期高齢期における社会活動継続に関する研究

近年の主な業績 (前頁からの続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 20 年度 大川情報通信基金研究助成 (申請代表 袖井孝子) 高齢社会における高齢者の IT 利用と QOL(生活の質)の向上 (受賞歴) ・ 平成 28 年度 日本老年社会学会 論文賞 ・ 平成 23 年度 日本老年社会学会 奨励賞 ・ 平成 14 年度 三井住友海上福祉財団賞 高齢者福祉部門 佳作
大学・関係団体 での役職	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京農業大学農学部バイオセラピー学科 非常勤講師 ・ 法政大学現代福祉学部 非常勤講師 ・ 東京都健康長寿医療センター研究所 協力研究員 ・ 日本老年社会学会 (広報委員、査読委員)、日本応用老年学会 (監事、編集委員)、シニア社会学会 (理事、運営委員) ・ 日本建築学会、日本都市社会学会、社会情報学会、The Gerontological Society of America 会員 ・ (公財)東京都防災・建築まちづくりセンター 理事、(社団)コミュニティネットワーク協会(理事) ・ 内閣府平成 27 年度「高齢者の生活と意識国際比較調査」分析検討委員 ・ 内閣府平成 27 年度～平成 29 年度 高齢社会フォーラム運営委員 ・ 内閣府平成 28 年度「高齢者の経済・生活環境に関する調査」検討委員会 ・ 鎌倉市平成 28 年度鎌倉市住宅マスタープラン策定委員会 委員 ・ 総務省平成 29 年度「IoT 新時代の未来づくり検討委員会」高齢者 SWG 構成員

兪 今 主任研究員 (博士<医学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年精神医学、公衆衛生学、保健管理学、老年学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のうつ予防プログラムの開発と応用研究、メンタルヘルス ・ 介護予防の推進 ・ 国際老人保健事業の長期的評価
近年の主な業績	(著書/分担執筆) <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な共著：「男性百歳の研究」、「精神障害の予防をめぐる最近の進歩」 (論文) <ul style="list-style-type: none"> ・ 安順姫、芳賀博、兪今：介護予防ボランティア登録者の活動への参加頻度に関連する要因. 老年学雑誌 2011；2：1-13. ・ 吉江妙実、兪今、長田久雄：高齢領域における音楽療法士の精神的自立性と他職種との連携の関連. 応用老年学会誌, 2010；4(1):51-59. ・ 荒居和子、兪今、長田久雄：傾聴ボランティア活動に関連する社会的要因. 応用老年学会誌, 2009；3(1):45-53. (競争的資金) <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度科学研究費助成事業・平成 27～29 年度(研究代表者島田今日子・分担研究者)・地域在住高齢者の社会的孤立に対する支援構築に向けた実証研究 ・ 平成 24 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)・平成 24～27 年度・高齢者のうつ予防のためのポピュレーションアプローチの実証研究(主任) ・ 平成 23 年度 財団法人 総合健康推進財団 高齢者の身体活動量を促進する地域環境要因に関する研究(分担) (受賞歴) <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 68 回日本公衆衛生学会総会 優秀演題賞 2009.10 ・ Poster award(The 7th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology) 2003.11

早尾 弘子 研究員 (修士<看護学・医療管理学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> 基礎看護学、健康情報分析学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活者の健康に関する問題
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護記録の減らし方, 中央法規, 分担執筆(2012年) 尊厳死法制化の動きについて, エキスパートナース, 30(9), (2014年) 多様化する看護活動の場について, 臨床看護, 24(5), (1998年) ナースのためのバイタルサインの基礎知識(4)意識障害, 臨床看護, 23(11), (1997年) <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> 非侵襲的血中ヘモグロビン測定法の適用可能性基礎的検討, 文京学院大学総合研究所紀要第16号, (2016年) <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学研究費助成事業(2017-2019)「介護予防訪問看護利用者像と要支援者への予防的アプローチの評価に関する実証研究」 科学研究費助成事業(2014-2015)「育児期の女性の保健行動と健康状態との関連～がん検診の啓発ツール開発に向けて～」

土屋 瑠見子 研究員 (博士<保健学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション、老年学、公衆衛生学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 病院リハビリテーション職種による退院調整 要介護高齢者に対する居住環境評価手法の開発
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> 池上直己, 石橋智昭, 高野龍昭[編著]: インターライ方式ガイドブック～ケアプラン作成・質の管理・看護での活用～. 医学書院 2017年12月、第4章「よくある質問に対する回答」執筆. 東京大学高齢社会総合研究機構[編]: 地域包括ケアのすすめ—在宅医療推進のための多職種連携の試み. 東京大学出版. 2014年3月、第5章第1節「多職種連携の土台作り: 2つの取り組み」 <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土屋瑠見子, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 西永正典, 村山洋史, 飯島勝矢, 辻哲夫. 在宅医療推進のための多職種連携研修プログラム開発: 都市近郊地域における短期的効果の検証. 日本公衆衛生雑誌 64(7), 359-370, 2017. Kimura T, Yoshie S, Tsuchiya R, Kawagoe S, Hirahara S, Iijima K, Akahoshi T, Tsuji T. Catheter replacement structure in home medical care settings and regional characteristics in Tokyo and three adjoining prefectures. <i>Geriatrics & Gerontology International</i> 6, 2016. Naruse T, Tsuchiya R, Yamamoto N, Nagata S. Identifying Characteristics of Adults Absent from a Metabolic Syndrome Checkup in Japan Using CHAID Dendrograms and Insurance Claim Data. <i>Health</i>, 7, 1841-1846, 2015. 木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司. 在宅医療における医師・訪問看護師による胃瘻交換に関する調査. <i>在宅医学会雑誌</i> 17(1), 11-19, 2015. Ogiwara S, Tsuchiya R. Job satisfaction among University of Kanazawa physiotherapy graduates. <i>Journal of the Tsuruma Health Science Society</i> 31(1), 35-44. 2007

<p>近年の主な業績 (前頁からの続き)</p>	<p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石橋智昭, 土屋瑠見子, 早尾弘子(2017.10.31-11.02). 介護予防サービスの評価におけるアウトカム指標の設定. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島県. ・ 早尾弘子, 土屋瑠見子, 石橋智昭(2017.10.31-11.02). 新総合事業の通所型サービスCに関する事業評価. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島県. ・ 土屋瑠見子, 早尾弘子, 石橋智昭(2017.10.31-11.02). 認知機能の障害度がその後の要介護度の改善に与える影響. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島県. ・ Tsuchiya R, Okada H, Sugimoto M, Fujii F, Okuyama A, Mikoshiba N, Ogino R, Hatanaka R, Nagata S, Higuchi N (2015.10.19-22). Family caregiving experience and advance directives. International Association of Gerontology and Geriatrics Asia / Oceania 2015, Thailand. ・ 土屋瑠見子, 吉江悟, 山中崇, 永田智子, 飯島 勝矢(2015.6.12-14). 訪問リハビリテーションサービス提供者における共感的態度—臨床経験と勤務状況に着目した探索的研究—. 第29回日本老年学会総会合同大会, 横浜. ・ Tsuchiya R, Lee J, Watanabe E, Park J, Fukahori A, Mori K, Kawakubo K(2015.5.1-4). Socio-demographic characteristics and daily physical activity among rural Japanese residents with back pain and knee pain. World confederation of Physical Therapy congress 2015, Singapore. ・ Tsuchiya R, Okada H, Yoshie S, Nishida K, Watanabe Y, et al (2014. 11-15.16). The difficulties faced by the long-term care managers in planning home-visit rehabilitation in Kashiwa city under the Comprehensive Special Zones: a qualitative study. KOREA-JAPAN 2nd JOINT CONFERENCE for the partnership between KPTA and JPTA, Korea. ・ 土屋瑠見子, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 村山洋史, 西永正典, 成瀬昂, 永田智子, 飯島勝矢, 辻哲夫(2014.11.29-30). 開業医・他職種との協働に対する意識と在宅医療への自信との関連—在宅医療推進多職種連携研修会参加者における検討—. 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 福岡. ・ 土屋瑠見子, 木村琢磨, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢. (2014.3.1-2). 訪問診療・訪問看護における気管カニューレの交換に関する実態調査. 第16回日本在宅医学会大会, 浜松. ・ 土屋瑠見子, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 多職種連携プログラム作成委員会, 村山洋史, 木全真理, 柴崎孝二, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2013.3.30-31). 市町村単位の在宅医療多職種連携研修会を受講した多職種の意識変化. 第15回日本在宅医学会大会, 松山. <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度スカンジナビア・ニッポンササカワ財団助成. 高齢者用住環境評価指標の日本版作成に向けた予備的研究～スウェーデンと日本の住環境比較～. <p>(受賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土屋瑠見子, 早尾弘子, 石橋智昭 (2017). 第76回日本公衆衛生学会総会 優秀ポスター賞 (演題名: 認知機能の障害度がその後の要介護度の改善に与える影響).
<p>大学・関係団体 での役職</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慈恵柏看護専門学校 非常勤講師 ・ 東京都健康長寿医療センター研究所 非常勤研究員

安 順姫 研究員 (修士<老年学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ うつ予防教室終了後の自主グループ活動の推進 ・ 介護予防教室終了後の自主活動定着のための支援のあり方
近年の主な業績	<p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安順姫、芳賀博、兪今：介護予防ボランティア登録者の活動への参加頻度に関連する要因. 老年学雑誌 2011 ; 2 : 1-13. <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年度 科学研究費助成事業(平成 29~30 年度)：うつ予防教室終了後の自主活動定着のための支援に関する研究 <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兪今、安順姫、張慶鎬：「中国の高学歴層高齢者における睡眠状態とその関連要因」第 82 回日本健康学会 (2017/11/10-11、沖縄県) ・ 安順姫、兪今：「うつ予防教室終了後における自主グループ活動への参加の実態およびその関連要因－神奈川県 C 市を事例とした検討－」第 12 回日本応用老年学会大会 (2017/10/22、東京都) ・ 安順姫、兪今：「高齢者の主観的幸福感とハッピープログラムの実施状況との関連」第 59 回日本老年社会科学学会大会 (2017/6/14-16、名古屋) ・ 兪今、安順姫：「高齢期における幸福感がその後の抑うつ発症に与える影響；5 年間の縦断的研究から得られた知見」第 32 回日本老年精神医学会学術集会 (2017/6/14-16、名古屋) ・ 兪今、安順姫：「中国の高学歴層高齢者における抑うつの性差とその関連要因」第 81 回日本民族衛生学会総会 (2016/11/26-27、東京都) ・ 兪今、安順姫、岩田明子、黒澤侑子：「Effectiveness of "Happy Program" in promoting mental health and well-being at workplace(“ハッピープログラム”が労働者のメンタルヘルスの維持増進に対する有効性について)」第 31 回国際心理学会議／日本心理学会第 80 回大会 (2016/7/24-29、横浜) ・ 安順姫、兪今：「高齢者の近所つきあいの経年変化とその関連要因」第 57 回日本老年社会科学学会大会 (2015/6/13-14、横浜)

中村 桃美 研究員 (修士<老年学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターにおける QOL 維持増進効果の検証
近年の主な業績	<p>(著書/分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェロントロジー・ライブラリー②高齢者の就業と健康 何歳まで働くべきか; 第3章-1 介護予防になる生きがい就業のかたち(分担執筆) 社会保険出版社(2016) <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中村桃美, 石橋智昭:「生きがい就業における年齢階層別の就業実態; シルバー人材センター7ヶ所への調査から」. 応用老年学, 11(1), 2017. ・ 塚本成美, 中村桃美, 石橋智昭:「シルバー人材センター会員の前職と希望する職種の関係」. 老年社会科学, 37(5), 2016 ・ 中村桃美, 長田久雄, 杉澤秀博:「都市部シルバー人材センターにおける就業の高次生活機能の低下抑制への影響」. 老年学雑誌, (6), 2016 ・ 石橋智昭, 中村桃美:「介護予防プログラムへの生きがい就業の活用」 病院設備, 56(4), 2014 <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中村桃美・石橋智昭:「シルバー人材センターでは会員の健康度に適した就業が分配されているのか」. 第76回日本公衆衛生学会大会(2017/11). ・ 中村桃美・石橋智昭:「シルバー人材センター会員が実感する生きがい就業の効果」. 第12回日本応用老年学会大会(2017/10) ・ Momomi Nakamura・Tomoaki Ishibashi・Hisao Osada:「Expectation and Reality of New SHRC Member: The Related with Job Matching and Satisfaction」. The 21th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics(2017/7) ・ 石橋智昭・中村桃美・塚本成美:「シルバー人材センター会員の大規模実態調査(2); 生活機能の自立性からみた会員の健康水準」. 第59回日本老年社会学会大会(2017/6) ・ 中村桃美・石橋智昭・塚本成美:「シルバー人材センター会員の大規模実態調査(1); 年齢段階別にみた就業の程度と内容」. 第59回日本老年社会学会大会(2017/6) ・ 中村桃美, 石橋智昭, 長田久雄:「シルバー人材センターでの就業による生活機能改善効果; 6センターでの調査結果から」. 第75回日本公衆衛生学会大会(2016/11) ・ 中村桃美, 石橋智昭:「シルバー人材センターのホワイトカラー出身会員の希望職群への就業の有無と退会」. 第11回日本応用老年学会大会(2016/10) ・ 中村桃美, 石橋智昭, 長田久雄, 岡真人:「シルバー人材センターにおける配分金額の分布と会員の満足度; 都市部Aセンターの会員調査から」. 第58回日本老年社会学会大会(2016/6) ・ 中村桃美, 石橋智昭, 長田久雄:「シルバー人材センターの就業による介護予防効果; 新入会員の生活機能の改善に焦点をあてて」. 第74回日本公衆衛生学会大会(2015/11)

近年の主な業績 (前頁からの続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中村桃美、石橋智昭、長田久雄、岡真人：「シルバー人材センター会員の地域活動への参加」．第 57 回日本老年社会学会大会 (2015/6) ・ 中村桃美、石橋智昭、岡真人、長田久雄：「シルバー人材センター新入会員の期待と現実(その 2) - 希望職種への就業の有無と会員の満足度の関連 -」日本老年社会学会第 56 回大会 (2015/6) ・ 中村桃美、石橋智昭、長田久雄：「シルバー人材センターにおける介護予防対象層の就業状況」日本応用老年学会第 9 回大会 (2014/10)
----------------------	--

森下 久美 研究員 (修士<老年学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年学、栄養学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人の家族介護者支援 ・ 児童・学生における認知症に関する教育
近年の主な業績	(著書／分担執筆) <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症介護研究・研修仙台センター [編]：厚生労働省平成 29 年度老人保健健康増進等事業；認知症の家族等介護者支援に関する調査研究事業 (成果物)；「専門職のための Q&A でわかる認知症の家族介護者支援ガイドブック」．2018 年 3 月,第 2 章 8 節 「子育てと介護の両方をおこなうものへの支援」 (学会発表) <ul style="list-style-type: none"> ・ 森下久美：「在宅認知症高齢者介護における家族の心理状況；主介護者の孫・ひ孫に着目して」．第 30 回日本健康心理学会大会若手シンポジウム (2017/9/1)

【客員研究員】

塚本 成美（城西大学経営学部 教授）

専門領域・テーマ

- ・ 経営社会学、経営組織論、人事労務論、雇用労働論

高野 龍昭（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 准教授）

専門領域・テーマ

- ・ 介護保険、ケアマネジメント

小野 恵子（武蔵野大学看護学部 准教授）

専門領域・テーマ

- ・ 在宅ケア、在宅看護、訪問看護、地域看護学、老年看護学

阿部 詠子（順天堂大学保健看護学部 講師）

専門領域・テーマ

- ・ 在宅看護、多職種連携・協働・多因子介入

五十嵐 歩（東京大学大学院医学系研究科 講師）

専門領域・テーマ

- ・ 老年看護学（慢性期医療・施設・在宅における高齢者ケアの質評価・改善）

森田 彩子（東京医科歯科大学国際健康推進医学分野 助教）

専門領域・テーマ

- ・ 社会医学、公衆衛生学・健康科学、国際保健学
- ・ 高齢期における介護予防・健康づくり、健康都市プロジェクトの政策評価

研究スタッフの詳細は当財団ホームページをご参照ください

<http://dia.or.jp/profile/researcher/>



リンクしない場合は財団のトップページからアクセスしてください

6. 他機関・団体等との交流

(1) 「事業説明会」の開催

賛助会員会社を対象とする「第8回事業説明会」を11月8日に開催しました。参加された11社14名に対し、財団の事業概要および調査研究について説明し、質疑応答を行いました。

(2) 内閣府主催「平成29年度 高齢社会フォーラム」への参画

2018年1月22日に「チャレンジを応援し続ける社会を築く」をテーマに開催されたフォーラムに、澤岡詩野主任研究員が企画運営委員および第3分科会『認知症になっても日常を「フツウ」に続けられるコミュニティを考える』のコーディネーターとして参画しました。

(3) 株式会社明治安田生活福祉研究所との連携

調査研究業務で親密な関係にある株式会社明治安田生活福祉研究所と9月28日に情報交換会を実施し、調査やシンポジウム等に関する情報提供や意見交換を行いました。

さらに、2018年2月にはインターネットを使った「50代・60代の働き方に関する意識調査」を共同で実施しました(前述)。

(4) シルバーサービス振興会の活動への参画

シルバーサービス振興会の活動に正会員団体として参画しています。

(5) ダイヤ・アクティブ・エイジング・アソシエーション (DAA) との連携

三菱グループ各社の退職者の活動グループで構成されるDAAの会員(約250名)を対象に、DAA活動・地域活動・健康・趣味等に関するアンケート調査を実施しました。

また、2018年3月7日に開催されたDAA全体交流会に、樋渡常務理事をはじめ財団職員が出席し、運営に協力するとともにDAAの幹部や参加者との交流を深めました。